

「新しい暮らしの与謝の園」

施設の老朽化に伴い桑飼小学校跡地に新築移転し、令和 6年3月24日に引越した与謝の園。京都初の「1ユニット15名」の介護サービスに職員は挑んでいます。

ご入居者のお部屋は全室個室となり、ご家族の協力のもとでご本人が大切にされているものや思い出の品を居室内に飾り、心地良い空間で安心して過ごしていただけるようにしました。

また、ユニット内の3つの共同リビングエリア(共同生活室)では、かつての与謝の園と同じように顔なじみの方とゆっくりと語り、過ごすことができるつくりとなっています。

引越してから早1ヶ月。

改めて感じた「新しい暮らしの与謝の園」

ご入居者や職員の声を紹介します。

窓から見える景色が綺麗
(特に4階は眺めが最高です！)



ホテルのようなたたずまい



<ご入居者の声>

- ・食堂の窓が大きく開放的で、新しい食器で食事も美味しいです。
- ・思い出の場所なので外を眺めていても今までのことが色々思い出されて飽きないです。
- ・屋上からの眺めも良くて、気分転換になります。
- ・食堂でテレビを見たり、部屋で休んだりゆっくりと過ごすことができるようになりました。

<職員の声>

- ・介護見守システム、インカムなどのICT、最新の入浴機器やリフト等を導入・活用することで、介護職員の業務負担軽減を目指します。
- ・近隣のこども園の子どもたちも散歩に来て手を振ってくれます。
- ・インカムの使用により職員間の連絡もスムーズになり、これまで以上に、一人ひとりに寄り添ったケアが提供できるようになりました。

新しいスタッフを迎えて



令和 6年度の北星会は 1 名の新入職員を迎え、入職式を行いました。
北星会では、入職式と合わせて新入職員研修を行なっております。

研修プログラムの内容

①法人の基本理念や経営方針・沿革について

労働安全衛生・法令遵守・職員倫理要項

②グループワーク

先輩職員と宮津の街を歩くフィールドワークを行い、目に見えるもの、感じる事をメモしたり、写真にとったりします。その後、グループワークを行い「この地域で北星会の職員としてできること」を考えました。みんなでまとめた結果は、「人と人を繋ぐ架け橋になる」ということです。

私たち北星会職員が施設や事業所で行うご利用者に対する個別の支援は、とても重要です。さらに北星会の職員として社会や地域の為に何ができるのかという視点をもつ事も重要なこととなります。

今日、考えた「視点」を持ちながらこれから仕事に就いてほしいと思います。

(松村博志)

— グランプリ受賞！

この度、Instagramの投稿で応募していた『ケアコネクトジャパン 第5回介護ictフォトコンテスト』にて、グランプリを受賞いたしました🌟

グランプリに輝いたのが、「グループホーム天橋の家」で撮影したこちらの写真！ご利用者とのお話にほぼ笑むスタッフが、機器を使ってバイタル測定をしている写真です。測った数値が自動で介護記録に反映され、記録の入力時間も省略され、今まで以上にご利用者とのコミュニケーションを楽しむ時間も増えました。

今回のフォトコンテストでは、Instagramの全国1,354投稿の中からの受賞で、去る2月15日には、静岡県での授賞式に出席させていただきました。

賞品はなんと！3泊5日のベトナム視察ツアー！！今後の投稿からも目が離せませんよ。お楽しみに。

北星会では、InstagramのほかにもFacebookやXなどSNS投稿により、介護の魅力や施設の様子など、様々なことを発信していますので、ぜひ投稿にご注目ください。😊
(水谷 暁)



北星会のSNSをご覧ください！

フォローや友だち追加、いいね！をお待ちしております。



Facebook



Instagram



X
(旧Twitter)



LINE